

2015年3月期 第2四半期
決算説明会

荏 原 (6361)

2014年11月7日



目次

1. 決算概要

取締役専務執行役員
経理財務担当

藤本 哲司

2. 今期の見通しと 経営戦略

代表取締役社長

前田 東一

1. 決算概要

2015年3月期第2四半期決算 サマリー

(1/2)

(単位：億円)

	2014年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	増減
受注高	2,865	2,272	592
売上高	1,748	1,861	+ 112
営業利益	2	6	8
経常利益	0	3	2
当期純利益	16	19	3

為替レート
(平均)

1ドル = 98.4円

1ドル = 105.4円

本資料において、特に記載のない限り「第2四半期」「2Q」は4月1日～9月30日の6ヶ月累計期間とします。

1. 決算概要

2015年3月期第2四半期決算 事業セグメント別 (2/2)

(単位：億円)

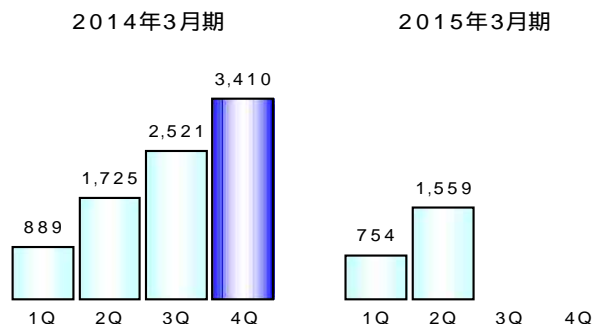
	受注高			売上高			営業利益		
	2014年 3月期 2Q	2015年 3月期 2Q	増減	2014年 3月期 2Q	2015年 3月期 2Q	増減	2014年 3月期 2Q	2015年 3月期 2Q	増減
風水力事業	1,725	1,559	165	1,284	1,315	+ 30	8	31	22
エンジニア リング事業	858	388	470	179	232	+ 53	13	10	2
精密・電子 事業	272	316	+ 43	275	304	+ 28	5	10	+ 16
その他事業 調整	8	8	+ 0	8	8	0	3	3	0
合計	2,865	2,272	592	1,748	1,861	+ 112	2	6	8

1. 決算概要

2015年3月期第2四半期決算 事業セグメント別 (1/3)

風水力事業

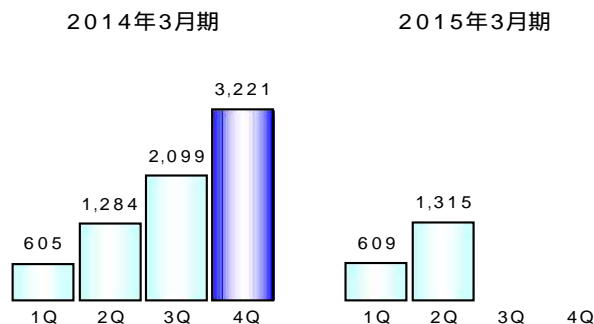
受注



【受注】

- ・新興国や北米等で、石油・ガス市場、化学市場の設備投資計画が進んでいる
- ・2014年3月期は上期に大型案件の受注があった

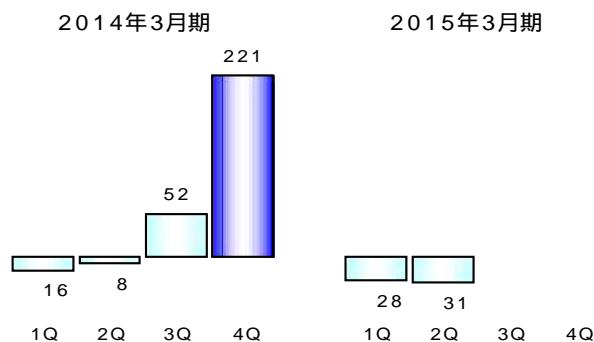
売上



【売上】

- ・手持ち案件を着実に売上

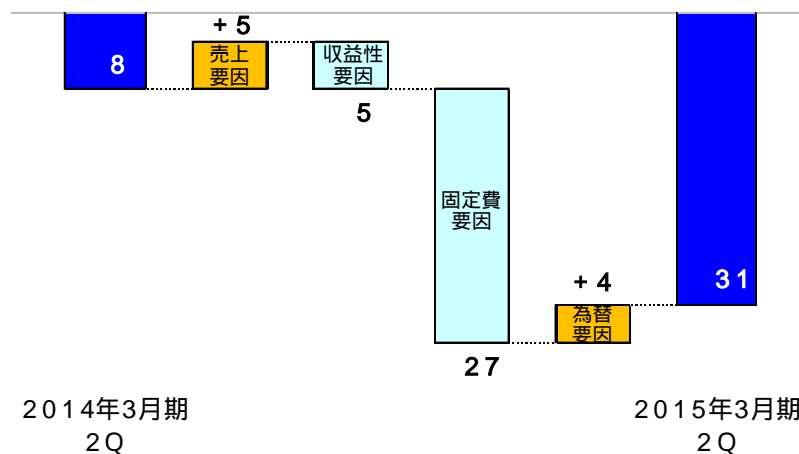
営業利益



【営業利益】

- ・増収効果
- ・成長投資の進捗および事業セグメント間の費用配分基準の変更により固定費が増加

増減要因分析

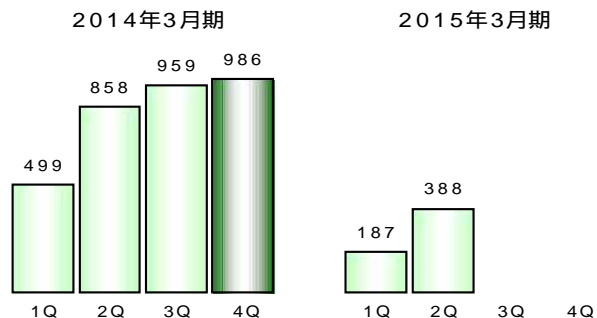


1. 決算概要

2015年3月期第2四半期決算 事業セグメント別 (2/3)

エンジニアリング事業

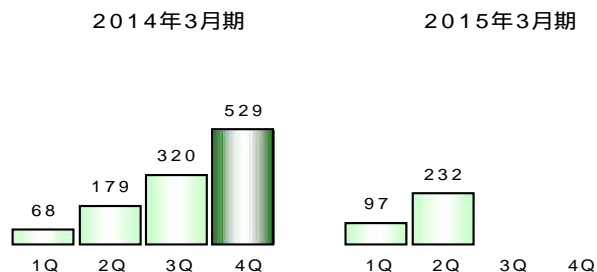
受注



【受注】

- ・ 2014年3月期には大型案件を3件受注している
- ・ 基幹的設備改良工事などが増加

売上



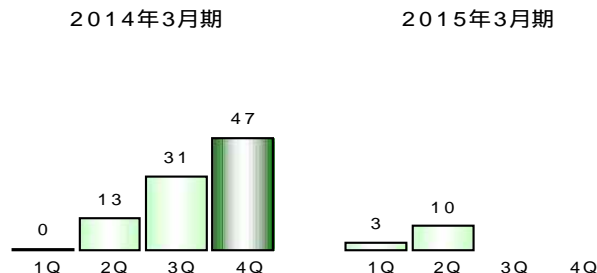
【売上】

- ・ 主にEPCの売上が増加

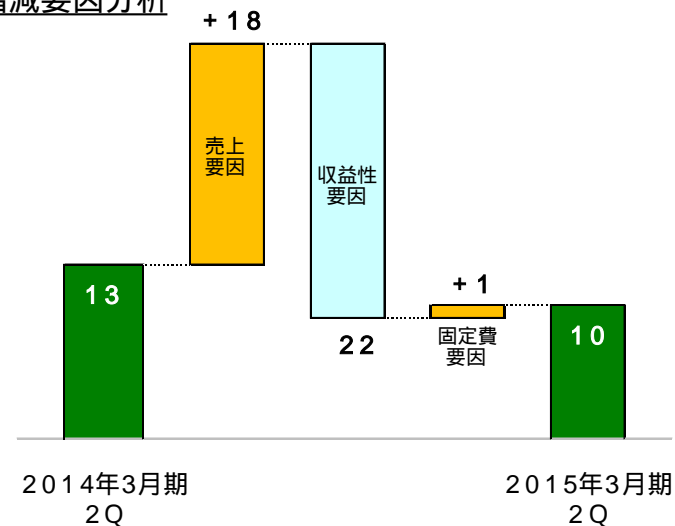
【営業利益】

- ・ 増収効果
- ・ EPCとO&Mの売上構成比が変化
- ・ 事業セグメント間の費用配分基準の変更により固定費が減少

営業利益



増減要因分析

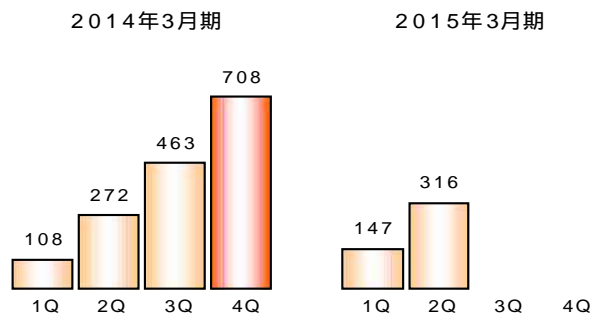


1. 決算概要

2015年3月期第2四半期決算 事業セグメント別 (3/3)

精密・電子事業

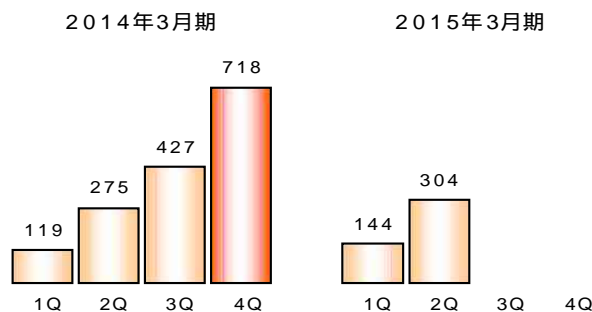
受注



【受注、売上】

- ・半導体の需要は徐々に回復
- ・主要顧客を中心に半導体製造設備の投資が増加

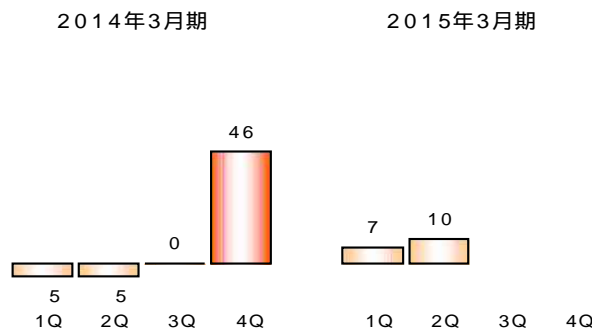
売上



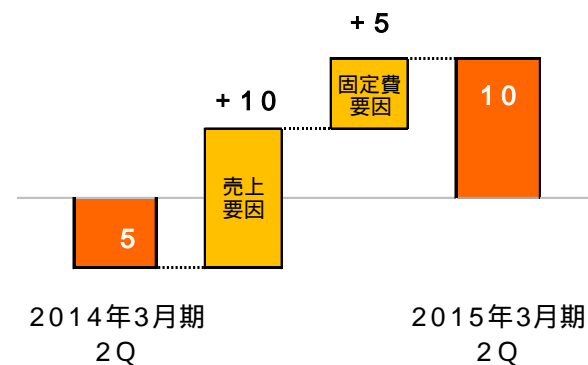
【営業利益】

- ・増収効果（主にコンポーネント事業）
- ・事業セグメント間の費用配分基準の変更により固定費が減少

営業利益

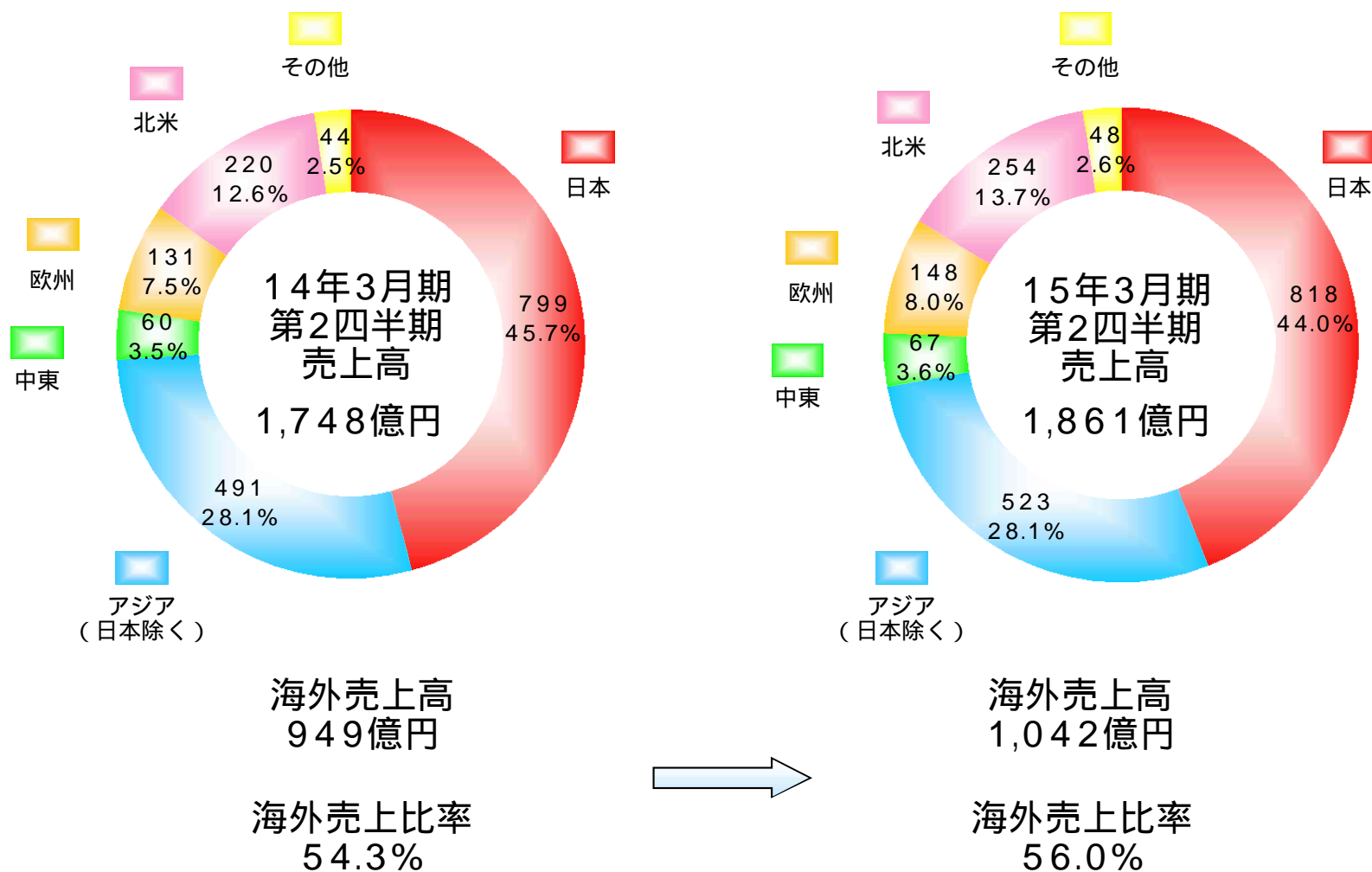


増減要因分析



1. 決算概要

2015年3月期第2四半期決算 地域別売上構成 (1/1)



1. 決算概要

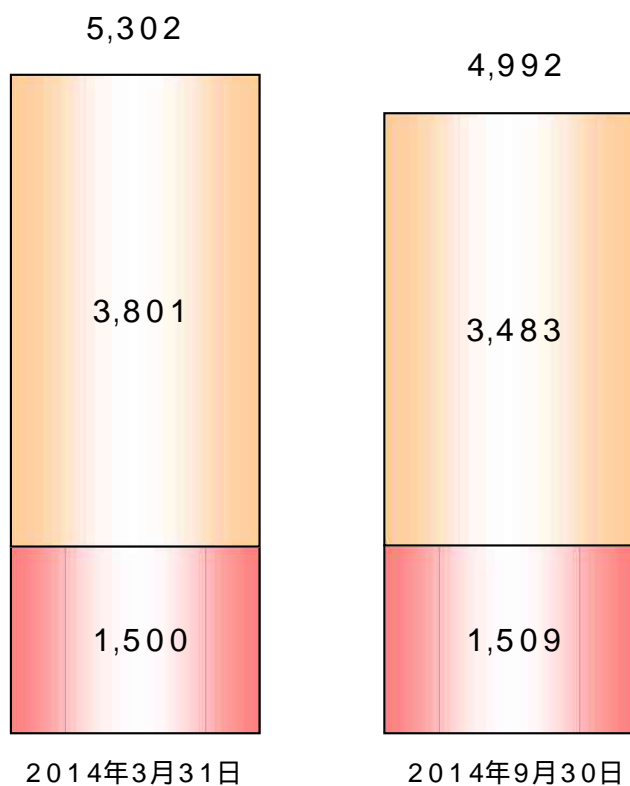
2015年3月期第2四半期決算 貸借対照表

(1/1)

資産

- 流動資産
- 固定資産

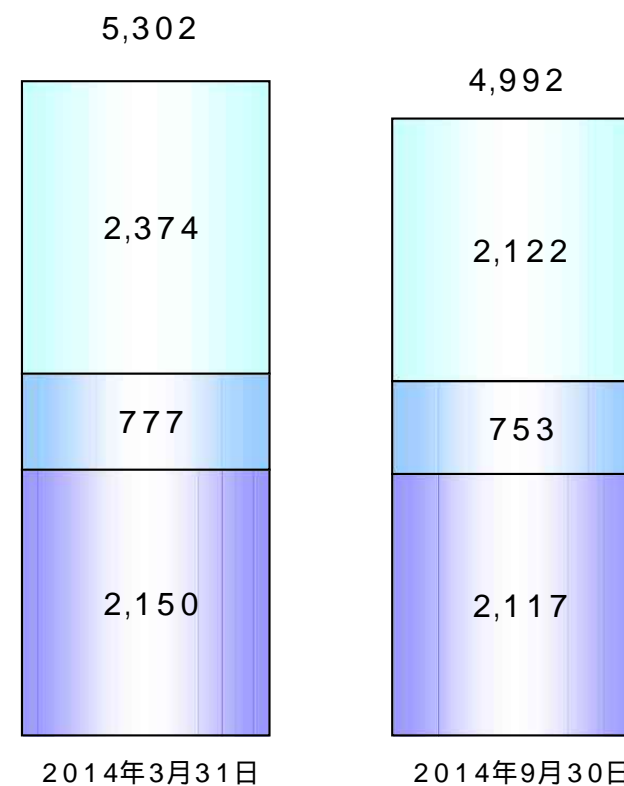
(単位：億円)



負債/純資産

- 流動負債
- 固定負債
- 純資産

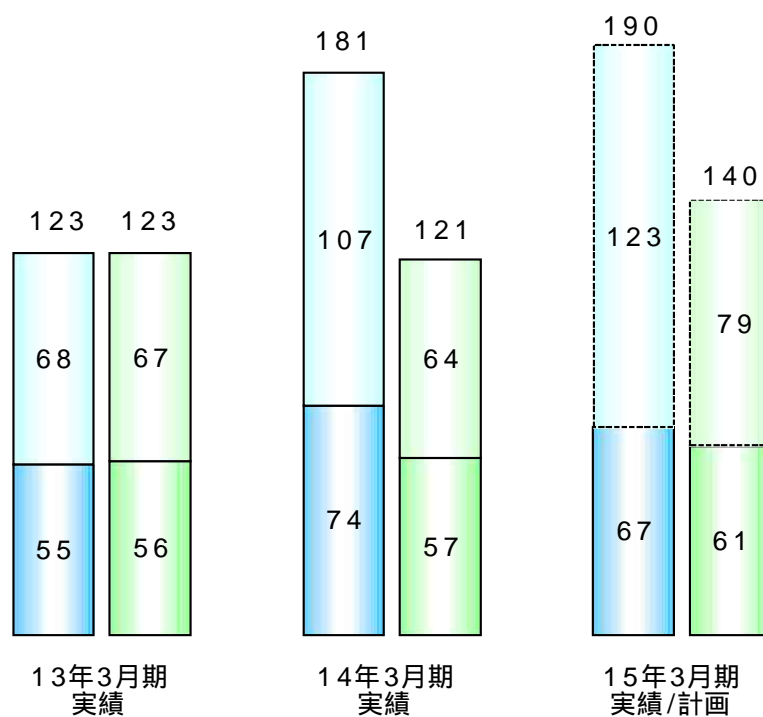
(単位：億円)



資本的支出・減価償却費

- 資本的支出(上期)
- 資本的支出(下期)
- 減価償却費(上期)
- 減価償却費(下期)

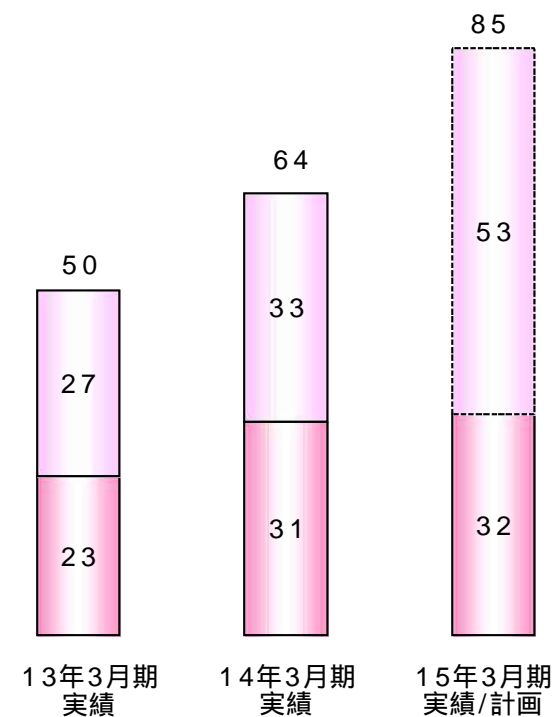
(単位：億円)



研究開発費

- 研究開発費(上期)
- 研究開発費(下期)

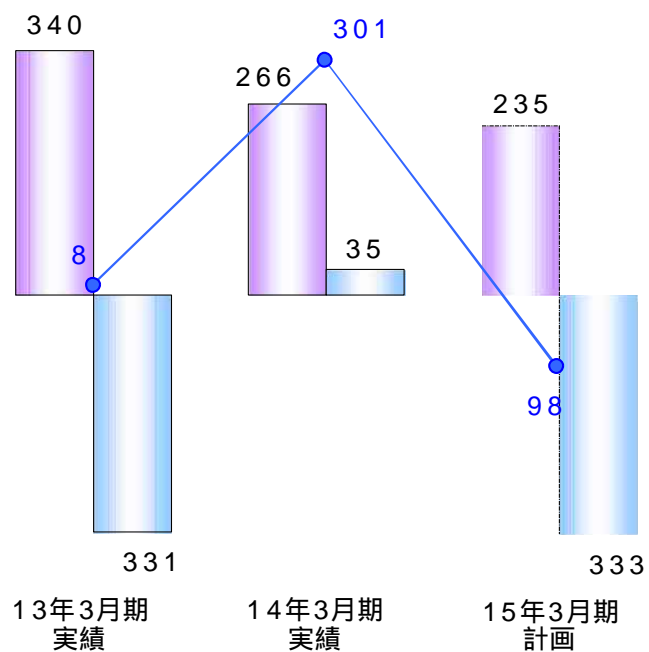
(単位：億円)



キャッシュ・フロー

- 営業活動キャッシュ・フロー
- 投資活動キャッシュ・フロー
- フリー・キャッシュ・フロー

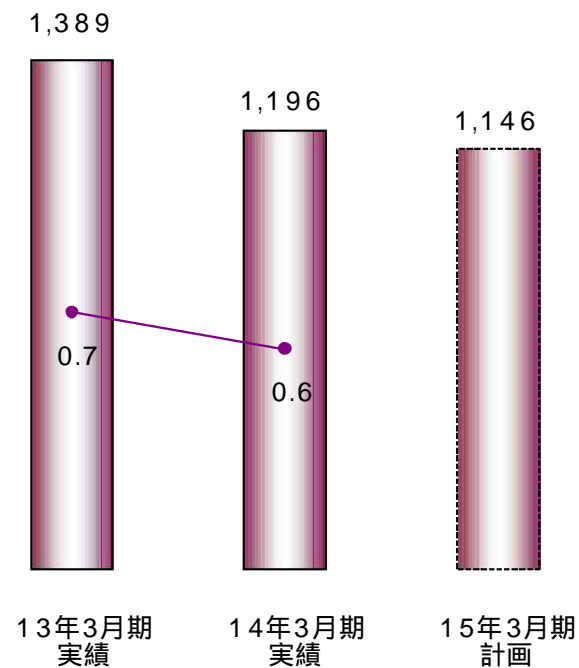
(単位：億円)



有利子負債残高

- 有利子負債
- D/Eレシオ (倍)

(単位：億円)



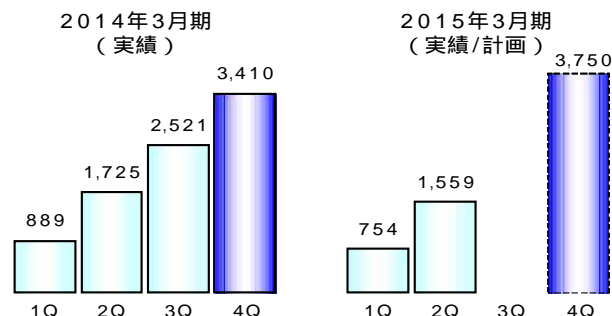
(空白)

2. 今期の見通しと 経営戦略

2015年3月期決算見通し 事業セグメント別 (1/4)

風水力事業

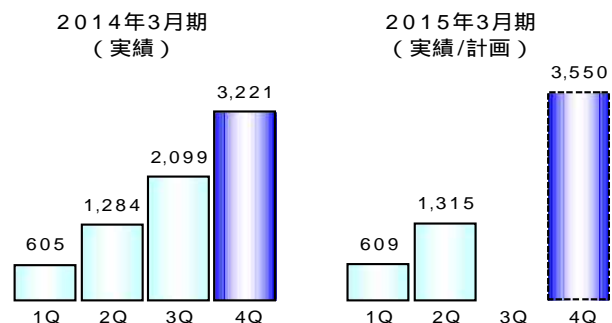
受注



【受注】

- ・石油・ガス市場、化学市場関連の新規投資がグローバルで活発化
- ・特にコンプレッサ・タービン事業が受注の伸びに大きく貢献
- ・大型案件の受注を見込む

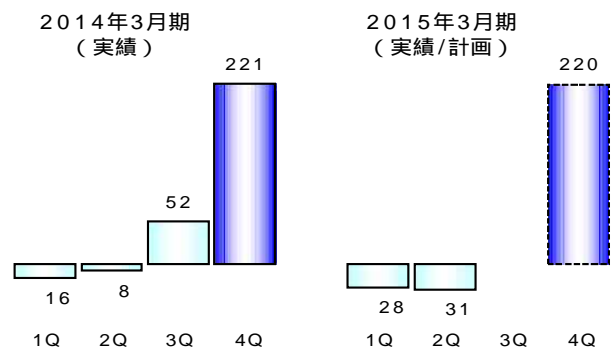
売上



【売上】

- ・2014年3月期までの受注案件が着実に進捗し売上は大きく伸長
- ・上期に発生した売上の遅れは通期で解消
- ・ただし売上が増加するのはサービス&サポートよりも製品が中心

営業利益



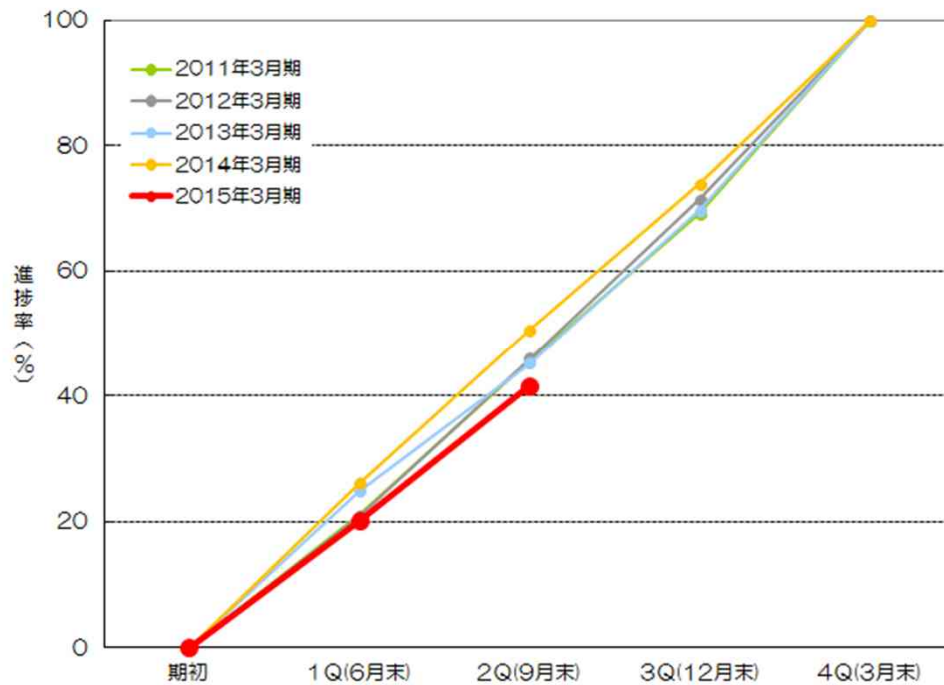
【営業利益】

- ・売上計画の確実な達成
- ・成長投資を期初計画どおり着実に進める
- ・事業セグメント間の費用配分基準の変更により固定費が増加

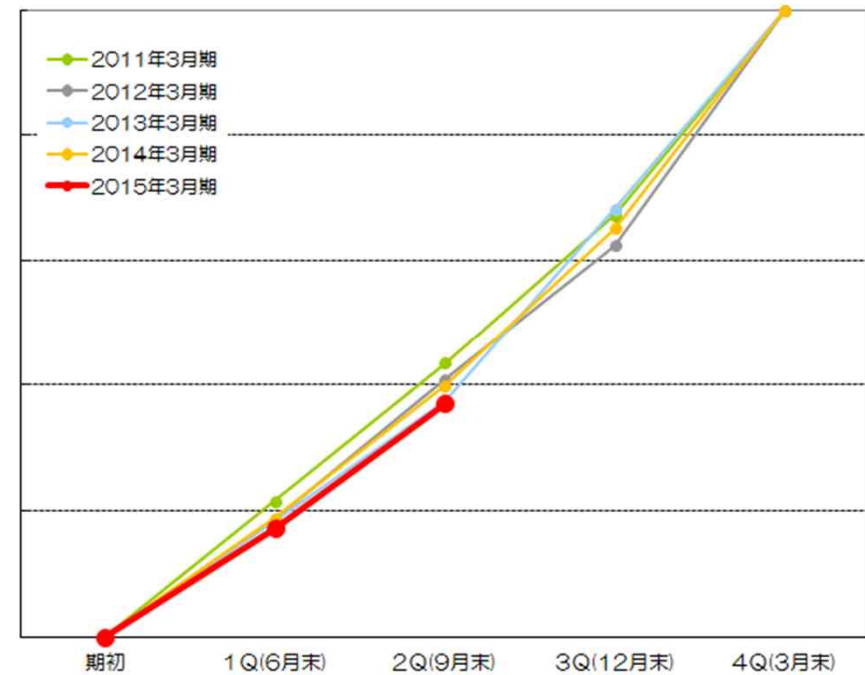
今期第2四半期の 受注は、対計画の42%の進捗
売上は、対計画の37%の進捗

- 受注の上期下期のバランスは今期は特に下期に偏る
- 売上の上期下期のバランスは数年来変わらず

(表)風水力事業の受注の通期実績に対する四半期進捗



(表)風水力事業の売上の通期実績に対する四半期進捗

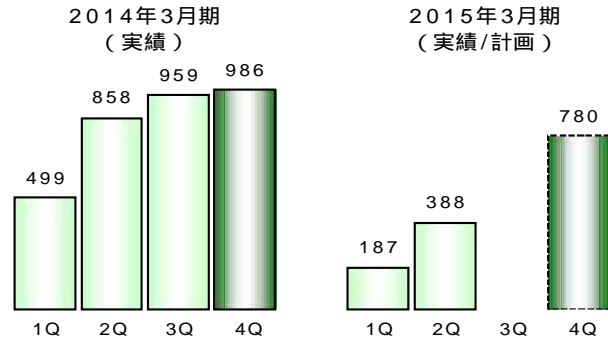


2. 今期の見通しと 経営戦略

2015年3月期決算見通し 事業セグメント別 (3/4)

エンジニアリング事業

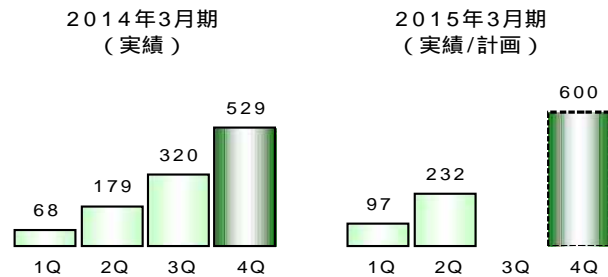
受注



【受注】

- ・ 当社の強みを活かせるEPC案件や基幹的設備改良案件を確実に受注
- ・ 下期の大型案件を着実に受注

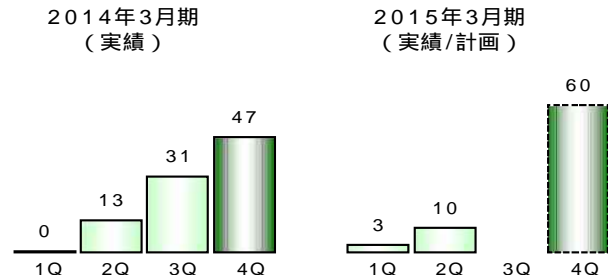
売上



【売上】

- ・ 手持ちのEPC案件について工事が順調に進む
- ・ O&M事業の売上増加

営業利益



【営業利益】

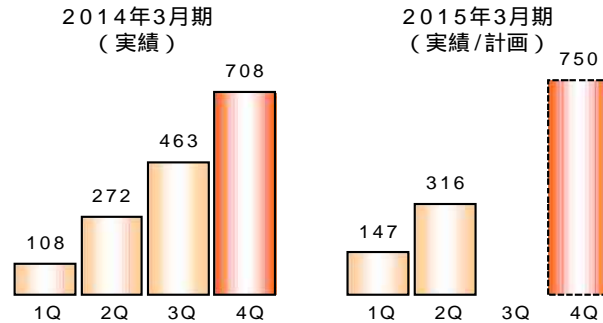
- ・ O&M事業の安定した収益構造に変化無し
- ・ 事業セグメント間の費用配分基準の変更により固定費が減少

2. 今期の見通しと 経営戦略

2015年3月期決算見通し 事業セグメント別 (4/4)

精密・電子事業

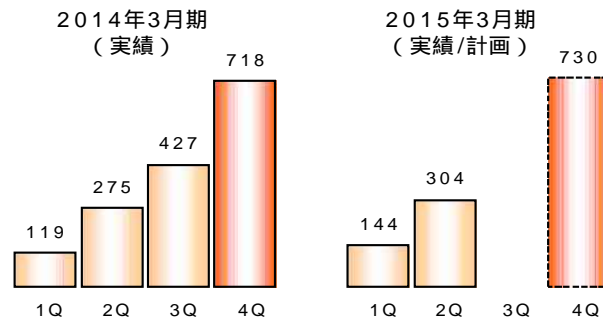
受注



【受注】

- ・半導体市場全体の回復基調は続く
- ただし当社の受注は主要顧客の設備投資計画の進捗次第

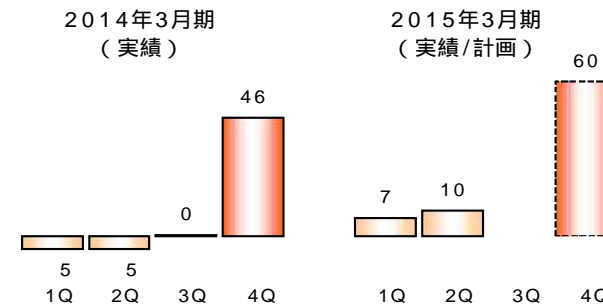
売上



【売上】

- ・2014年3月期と同様に、下期、特に第4四半期に集中する見込み（特にCMP事業）

営業利益



【営業利益】

- ・価格圧力は引き続き厳しいと予想
- ・事業セグメント間の費用配分基準の変更により固定費が減少

2. 今期の見通しと 経営戦略

2015年3月期 業績見通し

(1/2)

(単位：億円)

	2014年 3月期 (実績) (A)	2015年 3月期 (期初計画) (B)	2015年 3月期 (見込み) (C)	増減 (対計画比) (C-B)	増減 (対前期比) (C-A)
受注高	5,122	5,300	5,300		+ 177
売上高	4,486	4,900	4,900		+ 413
営業利益	321	340	340		+ 18
経常利益	313	340	340		+ 26
当期純利益	189	200	200		+ 10

為替レート

1ドル = 99.7円 (平均) 1ドル = 100円 (想定) 1ドル = 100円 (想定)

2. 今期の見通しと 経営戦略

業績見通し 事業セグメント別

(2/2)

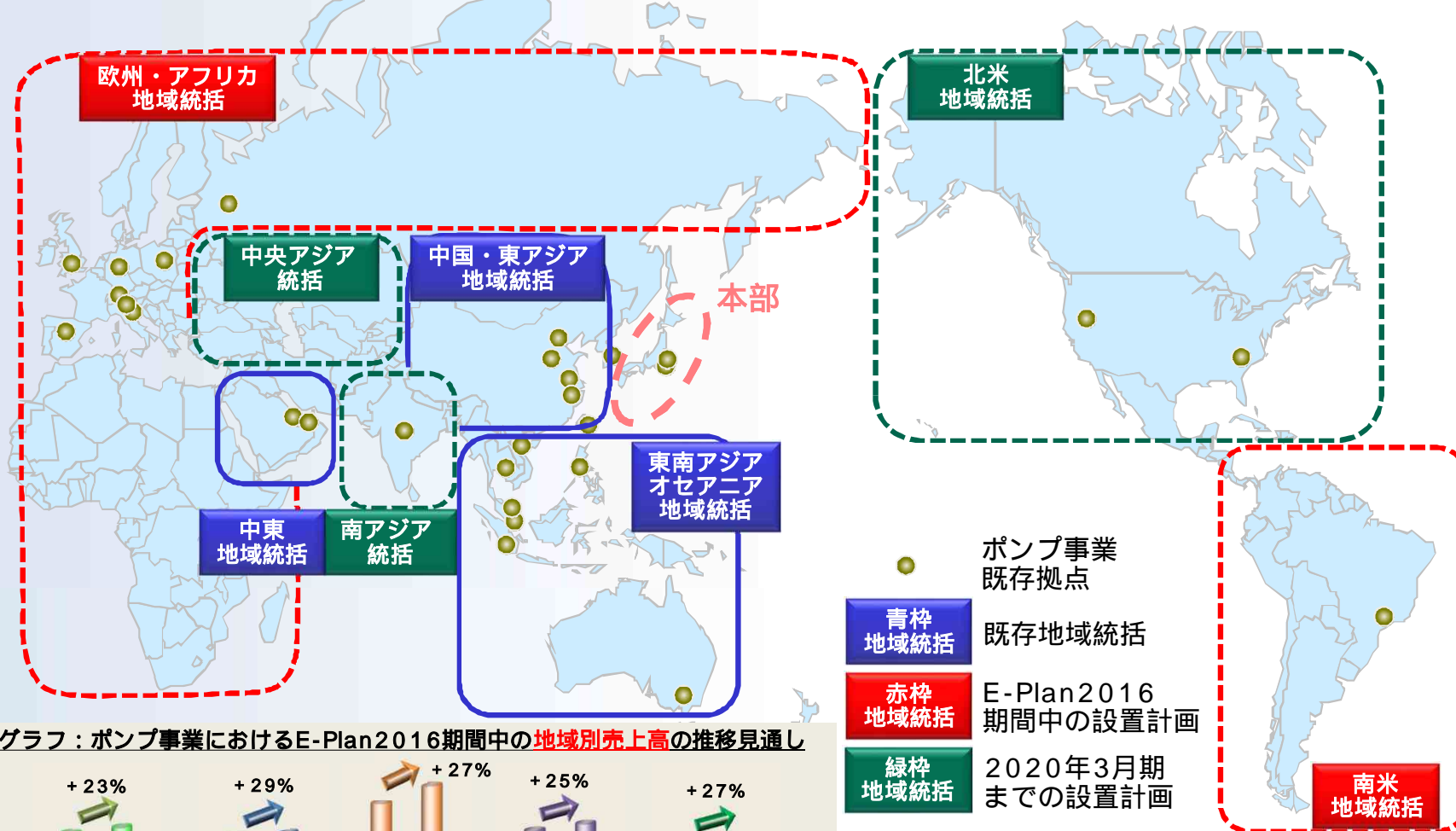
(単位：億円)

		2014年3月期 (実績) (A)	2015年3月期 (期初計画) (B)	2015年3月期 (見込み) (C)	増減 (対計画比) (C-B)	増減 (対前期比) (C-A)
風水力事業	受注	3,410	3,750	3,750		+ 339
	売上	3,221	3,550	3,550		+ 328
	営業利益	221	220	220		1
エンジニア リング事業	受注	986	780	780		206
	売上	529	600	600		+ 70
	営業利益	47	60	60		+ 12
精密・電子 事業	受注	708	750	750		+ 41
	売上	718	730	730		+ 11
	営業利益	46	60	60		+ 13
その他事業 調整	受注	16	20	20		+ 3
	売上	16	20	20		+ 3
	営業利益	6	0	0		6
合計	受注	5,122	5,300	5,300		+ 177
	売上	4,486	4,900	4,900		+ 413
	営業利益	321	340	340		+ 18

地域統括体制を軸としたグローバル事業拡大

拠点強化の全体像

全7地域統括で世界全域をカバーする地域統括体制を整備・拡充



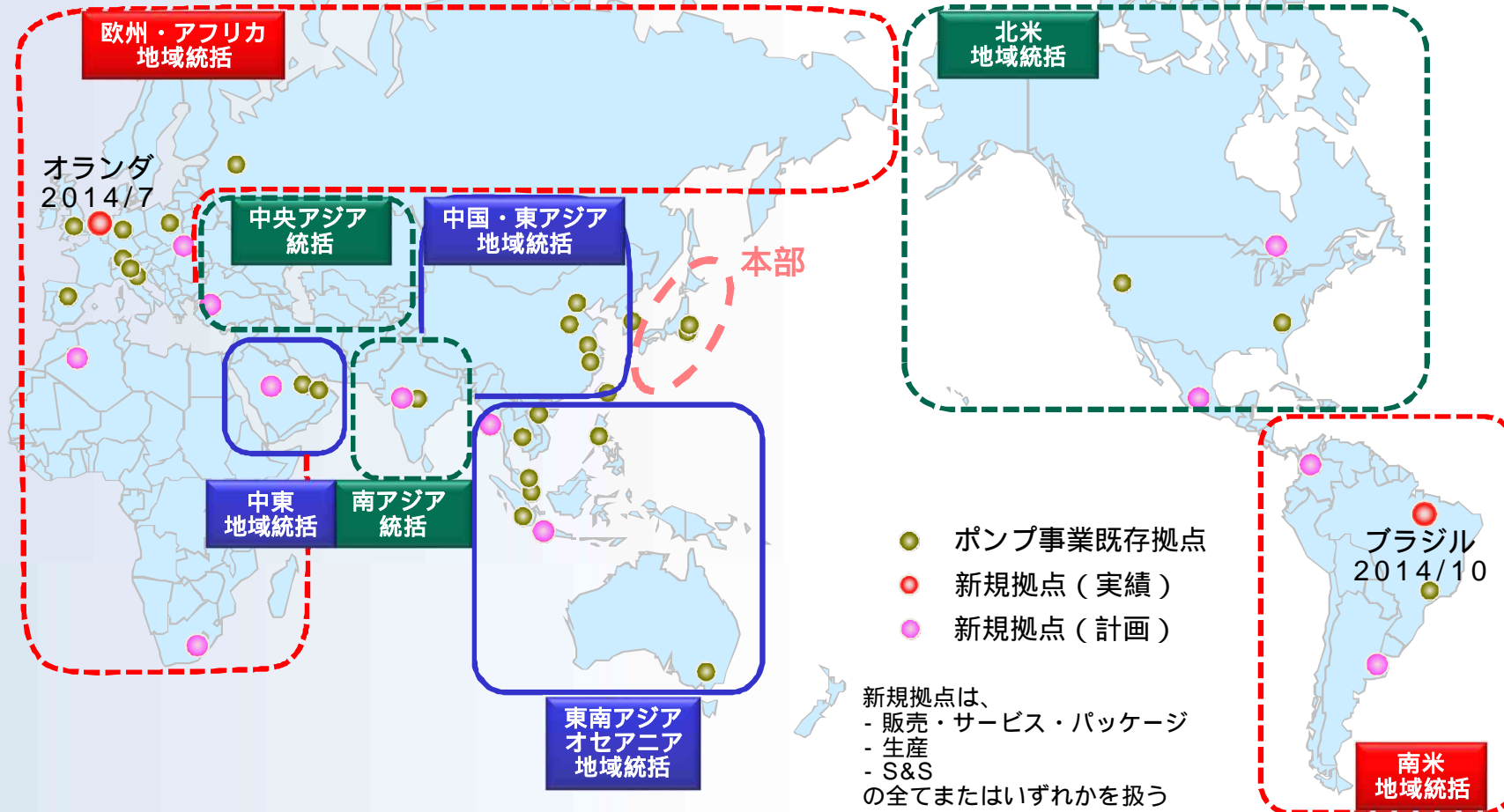
グラフ：ポンプ事業におけるE-Plan2016期間中の地域別売上高の推移見通し



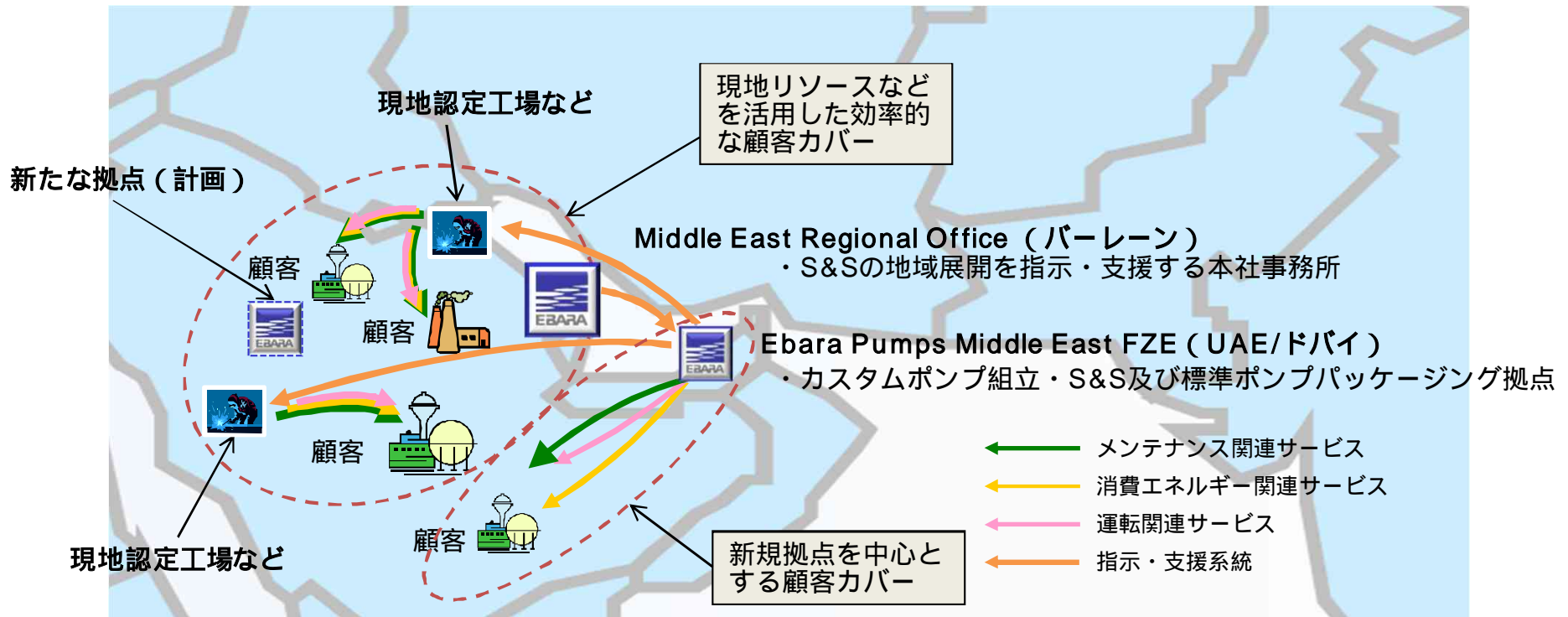
地域統括体制を軸としたグローバル事業拡大

拠点強化の進捗状況

各地で新規拠点の開設計画や、既存拠点への再投資が進捗中
(既存拠点の独資化、現地協力会社とのアライアンス強化、M&Aなどによる展開)



取り組みの一例：中東地域における「面」展開



- ・地域全体の需要取り込みに向けた「面」展開
- ・顧客、納入機器カバーの強化
- ・新たな拠点の開設

- ・2009年バーレーン事務所開設の前後で、受注は約20%増
- ・2014年ドバイ拠点開設後、S&S案件の引合件数(第2四半期累計)は、2014年3月期通期実績比で、約90%まで進捗
- ・地域に適した製品供給とS&S展開で受注・売上の拡大

中東地域の強化を更に進めるとともに、アジアなど既存顧客の多い地域やプラント建設が増える見込みの地域に展開

本資料に記載されている業績予想・計画ならびに将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および、将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定、を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。